

令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	高 校	学年	2 年	コース	
教 科	英 語		科 目	英語演習	
担当者	A	山内	B	豊見山	C 岩橋
教科書				副教材	English Central / 英検CAT等 タブレット教材

○学習到達目標

- ・高校1年次の内容を復習し、基礎を固めなおす。
- ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- ・英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。
- ・英検や校外模試対策を行う。
- ・英語に対する苦手意識の克服を図り、アクティブラーニングで積極性を育む。

○教科道徳教育到達目標

外国語を通じて、コミュニケーション能力を養い、異文化に興味を抱くとともに、国際社会に生きる日本人としての自覚を育み、日本人としてのアイデンティティを育成する。

○学習方法

- 1) リスニング(レッスンの大まかな内容を聞き取ります)
- 2) スキミング or スキャニング
(レッスン文の大まかな内容を把握する或いは特定の情報—キーワードや数字など—を探し出す活動)
- 3) 新出単語や表現の確認
- 4) スキミング 英問英答(内容理解)
- 5) 音読練習(リピーティング、オーバーラッピング、シャドーイング)
- 6) 重要表現練習
- 7) 文法学習
- 8) タブレットを用いて語彙増強
- 9) タブレットを用いて復習
- 10) オンライン英会話

○グレード別授業の基準

- A:大学入試に重点を置き、英検取得や校外模試の対策に特化し、レベルの高い教材に取り組む。
 B/C:英検取得や校外模試の対策に重点を置き、語彙力・読解力を培う。
 D:基本単語や暗唱例文の定着を図り、自ら進んで語威力を磨くよう学習習慣を身に付ける。

○評価方法

各学期ごとに、ルーブリック評価を行い、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。
 (ルーブリック評価50%)
 ※ルーブリック評価観点表は別紙参照

○指導計画

学期	月	学習内容	学期	月	学習内容	学期	月	学習内容
1	6	iPad、オンライン教材指導 進研模試対策	2	9	自己表現	3	1	進研模試対策 英検対策
	7	自己表現		10	進研模試対策 英検対策		2	リスニング・スピーキング対策 英作文
	8	リスニング・スピーキング対策 英作文		11	リスニング・スピーキング対策 英作文		3	1年間の復習
				12	英作文			

評価項目	評価段階	備考	A	B	C	D
	関心・意欲・態度	授業準備		与えられた課題に対し、分からない単語・表現をきちんと調べた上で、期限内に提出できている。	与えられた課題を期限内に提出できている。	与えられた課題を、期限後ではあるが提出できている。
授業中			各活動に積極的に参加し、分からないところがあれば質問、または調べたりしながら理解につなげようとしている。	授業中の各活動に参加し、理解しようとしている。	授業中の各活動への取り組み方が物足りない。理解しようという姿勢が乏しい。	授業中の各活動に全く取り組んでいない。
外国語表現の能力	話す		聞き手を意識して、準備したスクリプトを見るのを最小限に抑え、相手と目線を合わせながら聞きやすいスピードと発音で発話できている。	準備したスクリプトを見ながら、聞きやすいスピードと発音で発話できている。	準備したスクリプトを見て発話する中で、何度も途切れるため、聞き手にとって聞き取りにくい。	スクリプトを見ながら発話する中で何度も途切れ、また時々表現を飛ばしたりするため、内容が全く伝わらない。
	書く		・綴り、文法ミスが最小限に抑え、分かりやすい英文を書くことができる。 ・正しい書式に沿って、内容の一貫したまとまりのある英文を書くことができる。	・綴り、文法ミスが目立つものの、意味が伝わる英文を書くことができる。 ・正しい書式に沿ってはいるが、内容の一貫性に乏しい。	・綴り、文法ミスが多く、英文の意味が伝わらない。 ・正しい書式に沿っておらず、内容も伝わらない。	英文を書くことができない。
外国語理解の能力	読む		まとまりのある英文を読み、その内容に関する質問に8割以上答えることができる。	まとまりのある英文を読み、その内容に関する質問に6～7割程度答えることができる。	まとまりのある英文を読み、その内容に関する質問に3～5割程度答えることができる。	まとまりのある英文を読み、その内容に関する質問に2割程度までしか答えることができない。
	聴く		まとまりのある英文を聴き、その内容に関する質問に8割以上答えることができる。	まとまりのある英文を聴き、その内容に関する質問に6～7割程度答えることができる。	まとまりのある英文を聴き、その内容に関する質問に3～5割程度答えることができる。	まとまりのある英文を聴き、その内容に関する質問に2割程度までしか答えることができない。
言語や文化についての知識・理解			各レッスンで学ぶ文法内容を理解し、正しく使ったり説明したりすることができる。	各レッスンで学ぶ文法内容をある程度理解し、英作文ではミスがあるものの、並び替え問題のようなヒントがある問題であれば正解を導くことができる。	各レッスンで学ぶ文法内容をあまり理解できておらず、英作文には全く対応できない。並び替え問題のようなヒントがある問題でも、正答率は50パーセントほどである。	各レッスンで学ぶ文法内容が全く理解できておらず、どのような形式の問題であっても対応できない。